立川市議会議員

原ゆき 子育てまっさい中！通信

はら

2026年度秋号

市民の声を市政へ、新たな一歩



選挙後初めての定例会となる第３回定例会が開かれました。新たな任期のスタートにあたり、改めて市民の皆さまの声を大切に、一つひとつの課題に向き合ってまいります。今定例会では、令和7年度の決算審議や一般質問、文教委員会の場で議論を深めました。また、議会改革特別委員会の委員長に選任され、市民に開かれた議会の実現に向けた役割も担うこととなりました。今号では、これらの活動についてご報告いたします。

９月議会のご報告 一般質問

質問の詳細はこちら

地域で支え合い、未来につなぐまちづくり



持続可能な立川の未来に向けて、環境・発達支援・産後ケアの3つのテーマについて、市に提言しました。

Thema 1
資源循環のまちづくり

資源もエネルギーも地域で循環する仕組みを

原ゆきの提言

ペットボトルの水平リサイクルや、太陽光発電の余剰電力活用に加え、地域でつくった再生可能エネルギーを地域で使う「エネルギーの地産地消」を提案。将来的には、原発に頼らない安全なエネルギーを身近で確保できるよう、市民協働による仕組みづくりも求めました。

立川市の回答

ペットボトルの水平リサイクルは、安定性・継続性・費用対効果を踏まえて調査研究。エネルギーの地産地消は、太陽光発電量と自家消費率の向上を柱に、市民や事業者への周知啓発を進める。

Thema 2
地域で発達支援を担うために

地域みんなで子どもと家族を支えられるまちへ

原ゆきの提言

ピアサポーターだけでなく、保護者や学校・地域で子どもに関わる方など、幅広い市民が発達特性について学べる講座の実施を。

立川市の回答

今年度のフォローアップ研修から一般市民も対象に。今後の養成講座でも対象を広げ、地域の理解促進につなげたい。

Thema 3
産後ケアのさらなる充実

必要なときに、必要な支援が届く産後ケアへ

原ゆきの提言

利用回数や期間、個々の状況に応じた柔軟な対応、利用につながらなかった申請者へのアンケートなどによるニーズ把握、受け入れ施設の確保・支援を。

立川市の回答

利用回数・期間の妥当性や、申請者数と利用者数に差が生じる理由を検討。既存施設の利用枠拡大や近隣自治体の施設開拓を進める。

今回、初めて環境分野について本格的に取り組みました。
安心・安全で持続可能なエネルギーのあり方も、まちの大切な課題です。
皆さまからのご意見もお待ちしています。

決算特別委員会　決算審査から、暮らしと市政のこれからを考える

令和7年度決算 会派を代表して討論

令和7年度は、第5次長期総合計画の初年度。一般会計の歳出決算は約939億円となり、市税収入も前年度から約22億円増加しました。一方、実質収支は約57億円の黒字、不用額は約63億円となりました。
会派として、財政調整基金への積立てを評価するとともに、使われなかった予算の減額補正を適切に行い、決算の実態が市民にわかりやすく伝わるよう求めました。

委員会での報告や、質疑はこちら

子ども・教育・福祉 ── 暮らしに根ざした提言を

子ども・教育	就学前に把握した発達支援のニーズを就学後にもつなぐこと、学校支援員等の研修充実、継続的な包括的性教育に取り組むこと。
地域福祉	地域の居場所や市民活動をつなぐ仕組みづくり、基幹相談支援センターの充実、地域包括支援センターの人材確保と相談支援体制を強化すること。
住まい・暮らし	市営住宅の空き住戸を早期に活用できるよう、修繕や募集のあり方を点検し、住宅・福祉部門の連携を進めること。

文教委員会での取り組みはこちら

文教委員会　子どもたちの学びと育ちを支えるために

文教委員会では、部活動の地域連携・地域展開や学校施設の再整備、水泳授業の民間活用など、立川の教育環境について審議・確認しています。

この夏には、学校給食東共同調理場の会議室を学習スペースとして提供する取り組みが実施され、その内容が報告されました。私もこれまで、子どもたちが安心して利用できる自宅外の学習スペース拡充を求めてきました。不登校の子どもたちや発達特性のある子どもたちへの支援、教職員の働きやすい環境改善も、引き続き大切にしているテーマです。

会派予算要望提出　酒井市長へ次年度予算要望を提出しました

この夏、市内のさまざまな団体からお話を伺い、現場の声や必要な支援を会派「立憲ネット緑たちかわ」の予算要望に盛り込みました。一つひとつの声に向き合い市政へ届け、少しでも多くの声が来年度予算に反映されるよう求めました。



議会改革特別委員会　理念を、具体的な改革へ

このたび、議会改革特別委員会の委員長を務めることになりました。

議会基本条例の2年ごとの検証にあたり、議員の理解を深めるための勉強会を開催しました。検証で見えてきた課題をもとに、今任期で取り扱うテーマを決定する予定です。着実な改革を重ね、議論の過程が市民の皆さまに伝わる、開かれた市議会を目指してまいります。



発行責任者　原ゆき事務所
Tel:070-9008-7455／Fax:050-3488-7544　mail:harayuki0802@gmail.com
郵送物はこちら▶ 〒190-8666　立川市泉町1156-9 議会事務局

Profile　1987年生まれ39歳。元小学校教員。長妻昭衆議院議員元秘書。
若葉小/立川九中/錦城高校/都留文科大学卒。夫、子2人（6歳、3歳）と共に若葉町在住。

ホームページお問い合わせフォームや各種SNSダイレクトメッセージなどから、ご意見・ご相談お気軽にお寄せください

https://harayuki.com/

SNSで日々の活動を発信しています！